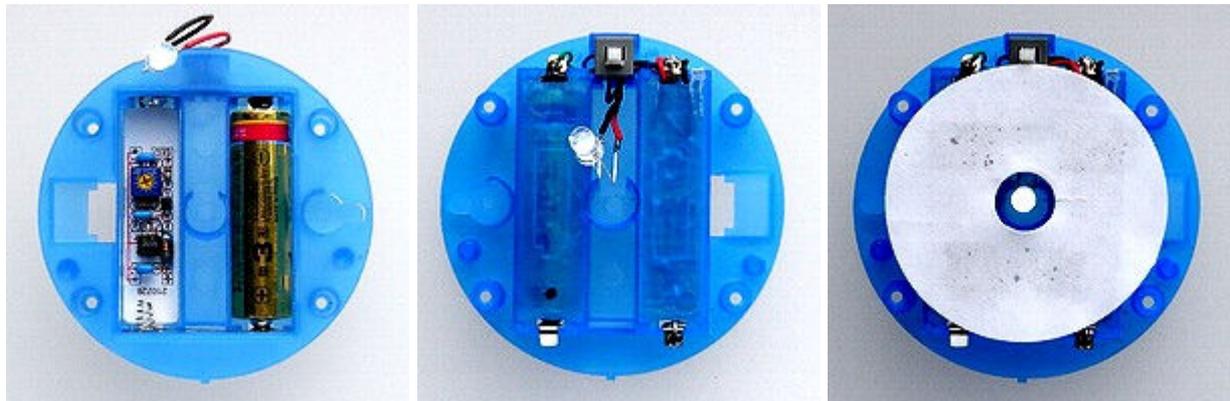


9B__押しボタンランプ改造・単三1本でLEDを点灯



画像左は、径80φ位の、豆電球を単三電池2本で光らせる、壁掛けもしくは卓上用のランプです。100円均一店では2個100円で市販しています。上部のレンズ部を押すとスイッチが入り点灯します。再度押すと断になります。定格は、電池：単三2本使用、電球：2.5V0.3Aです。これに昇電圧回路を組み込み、LEDを単三1本で点灯します。停電時などの非常時にぶつからない程度の明るさを考えています。画像は、完成したもので、点灯しています。

分解して、基板をいれ、LEDを接続。



画像左：底面、片側に基板を入れる

裏側の電池蓋を外し、電池をとり、4隅のビスを外します。片方の電池の収納部に、接続線を取り付けた基板を入れます。接続線は、電源2本、LEDの配線用2本、計4本です。

画像中央：表面、反射用の白紙を剥がし、LEDを接続

基板の+と-は電池の端子に半田し、スイッチからの線をーに半田します。LEDの配線はスイッチの下の隙間を通します。点灯を確認します。

画像右：LEDを固定し、反射紙を貼り付けます

LEDの足は直角に折り曲げ、グリースティックで固定します。反射用の紙を両面テープで元道理に貼り付けます。

使用した基板と回路、データは、[7F__常夜灯、単一電池1本を考察する・その2](#) をご覧ください。

枠を取り付け、完成です。



LEDの点灯を確認したら、カバーを載せ、枠をビス止めします。表面の押し下げで点灯、再度の押し下げで消灯を確認します。基板のVRをまわして明るさを調整します。電池カバーをして完成です。